

別府観光

『おもてなしライセンス』 (テキスト)

一般社団法人 別府市観光協会

ーこのテキスト資料の転用を禁ずー

1

1

I. 歴史

II. 一般

III. イベント

IV. 観光施設

V. 交通・姉妹都市

VI. 温泉

2

2

I. 歴史

■火男火売神社 (ほのおほのめじんじゃ)

【解説】

平安時代の貞観9(867)年に鶴見岳が大噴火を起こし、多くの死者や土石流による被害が出た時、これを鎮めるためのお祈りをしたとされる神社。

鶴見岳山頂に「上宮」、鶴見岳中腹の「中宮」は御嶽(おたけ)権現、火売町にある「下宮」は鶴見権現、と呼ばれている。



「下宮」の鶴見権現

3

I. 歴史

■鬼の岩屋古墳 (おにのいわやこふん)

【解説】

上人小学校に隣接しており、6世紀初頭に造られたと言われている古墳の名称。

1号古墳は直径31m、2号古墳は37.5mの円墳で、内部に横穴式石室があり、県内最大規模を誇る。



4

I. 歴史

■石垣原の戦い (いしがきばるのたたかい)

【解説】

関ヶ原の戦いの2日前

(1600年9月13日)『九州版・関ヶ原の戦い』と言われ、豊臣方の大友氏が滅亡した別府での戦い。西軍の大友義統(よしむね)は、東軍の黒田如水(官兵衛)軍と戦って敗れた。西軍の敗戦の将となった吉弘統幸(むねゆき)は、その功績として吉弘神社に祀られている。



観海寺にある吉弘統幸陣所跡

5

I. 歴史

■大友軍は南立石に、
黒田軍は実相寺山に陣を置いた

【解説】

石垣原の戦いでは、西軍の大友軍は南立石に、東軍の黒田軍は実相寺山に陣を敷いた。大友軍約900、黒田軍約2400人と言われている。

戦場となった南立石公園の東には「古戦場橋」等の名前が残っている。



大友軍陣地から見た実相寺山

6

I. 歴史

■貝原益軒 (かいばらえきけん)

【解説】

江戸時代に別府を訪れ、『豊国紀行(ほうこくきこう)』で鉄輪などを紹介した儒学者で、福岡藩の儒学者・藩医でもあった。

元禄7年(1694年)65歳の時に豊前・豊後の史跡調査を行い、それをまとめた見聞記が『豊国紀行』。



別府市立図書館所蔵の『豊国紀行』

7

I. 歴史

いとう ただたか

■伊能 忠敬

【解説】

江戸時代の測量家・地理学者。文化2年(1810年)に別府を訪れ、測量の基点となった流川4丁目の角には、石碑が建てられている。



伊能忠敬記念館所蔵

8

I. 歴史

■千辛萬苦之場（せんしんばんくのば）

【解説】

別府公会堂の駐車場の北側にあり、明治維新で活躍した井上馨が療養したとされる旅籠『若彦』に、幕末に刺客に襲われて重傷を負った、慶応元年（1865年）に療養のため楠町の旅籠『若彦』に逗留。後に明治政府の外務大臣、大蔵大臣を務め、明治44年に『若彦』を訪れ、当時を懐かしみ『千辛萬苦之場』の書を残した。移築され現在地に。



9

I. 歴史

■油屋熊八翁（あぶらやくまはちおう）

【解説】

別府観光の父と呼ばれている油屋熊八翁は愛媛県宇和島市生まれ、富士山頂に「山は富士 海は瀬戸内 湯は別府」の標柱を立てたり、日本で初めての女性バスガイドを採用し、地獄めぐりも始めた。別府公園内には熊八翁の碑があり、毎年11月には『碑前祭』も行われている。



10

9

10

I. 歴史

■旅人を ねんごろにせよ

【解説】

別府観光の父である油屋熊八翁が、座右の銘にした聖書の言葉であり、意味は「旅人をもてなすことを忘れてはいけない」の意。熊八が始めた亀の井旅館は、その実践の場でもあった



現在の亀の井ホテル

11

11

I. 歴史

■別府市の誕生

【解説】

1924年（大正13年）4月1日に、別府町は市制を施行し別府市となった。当時の人口は36,276人。初代市長は神澤又市郎。その後1935年（昭和10年）に別府市と亀川町・朝日村・石垣村が合併し、人口56,968人の別府八湯を含む「大別府市」となって、温泉都市として発展していく。



当時の別府市役所

12

12

I. 歴史

■別府市市民憲章

【解説】

昭和43年に制定された。

- ①美しいまちをつくりましょう
- ②温泉を大切にしましょう
- ③お客様を温かく迎えましょう



13

13

I. 歴史

■レンガホールのは前身は『別府電報電話局電話分室』

【解説】

昭和3年（1928）に別府市公会堂と同じ吉田鉄郎の設計で建てられた。赤レンガを貼り付けているが、コンクリート造りであり、一時期別府市役所の分館として利用された。



14

14

I. 歴史

■別府市公会堂

【解説】

洋風・和風の近代建築が次々と建設された時代に、別府市を代表する建築物として1928年3月に吉田鉄郎氏の設計で建設された。末広町のレンガホールも吉田氏の設計。



15

I. 歴史

■赤銅御殿（あかがねごてん）

【解説】

筑豊の炭鉱王と呼ばれた伊藤伝右衛門が別府市に建てた別荘。妻白蓮（燐子）のため、現在の別府アリーナ南側に、木材を全国の最高峰のものを集め大正5年に完成。戦後はホテルとしても活用されたが、昭和54年に老朽化により取り壊された。



16

15

16

I. 歴史

■柳原白蓮（やなぎはらびゃくれん）

【解説】

伊藤伝右衛門の妻となった歌人の名で、本名は燐子（あきこ）。明治44年、26歳で伝衛門（51歳）と結婚、大正10年に離婚。NHKの朝の連ドラ『花子とアン』でも取り上げられた。



17

17

I. 歴史

■キャンプ・チッカマウガ

【解説】

終戦後から昭和31年まで、進駐軍が別府に駐留したキャンプ地は、アメリカの南北戦争の激戦地にちなんでキャンプ・チッカマウガと呼ばれた。別府公園から旧別府商業高校あたりまでの43万㎡の土地に兵舎、教会、学校などが建設された。昭和31年7月まで米軍が駐留した。



進駐軍によりクリスマスツリーとして植えられたチッカマウガツリー

18

18

I. 歴史

■旧・海軍病院

【解説】

現在の「別府医療センター」は、戦前・戦中に『海軍病院』であった。

『陸軍病院』は、現在の社会福祉会館南側駐車場付近にあったが、現在は門柱だけが残っている。



現在の別府医療センター

19

19

I. 歴史

■生野祥雲斎（しょうの しょううんさい）

【解説】

昭和42年に人間国宝に認定された竹工芸家であり、現在の別府市内成に生まれ、昭和13年から21年まで別府工芸指導所で商工技手として後進の指導にも当たった。



竹の伝統産業会館の生野祥雲斎コーナー

20

20

I. 歴史

■別府競輪場

【解説】

戦後復興の財源確保のため、昭和25年に公益の増進と、地方財政の健全化を目的に開設され、敷地内には競輪温泉も併設されている。これまでに、別府市の一般会計に繰り入れた総額は472億円を超えている。

(R5年度現在)



21

I. 歴史

■やまなみハイウェイ

【解説】

昭和39年に開通した九州横断道路（別府阿蘇道路）の水分峠から阿蘇までの道路の別名。九州横断道路は県道11号線であり、やまなみハイウェイは平成6年6月25日に無料化された。



22

I. 歴史

■太陽の家

【解説】

「世に身心障害者はあっても仕事に障害はあり得ない」という理念の下、中村裕（ゆたか）博士が、障害者の自立を目標に1965年に創設。現在障害者1096人を含む1840人が在籍している。(R6年)



亀川にある「太陽の家」

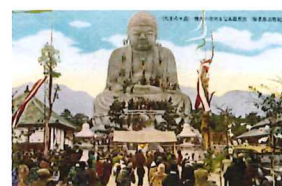
23

I. 歴史

■別府大仏

【解説】

大分県を中心に活躍していた実業家岡本榮三郎によって、天満町に建立された。昭和3年に完成、平成元年に解体。像高24mの阿弥陀如来の大仏で、内部は三層構造になっており、見物することもでき、多くの見学者があった。コンクリートに遺骨や遺髪を混ぜた骨仏である。



別府大仏の絵葉書

24

I. 歴史

■楠港（くすのきこう）

【解説】

明治4年（1871年）に港が完成し、同6年に大阪別府航路が開かれた。船の安全を祈って建てられたのが波止神社である。昭和41年に別府国際観光港に移るまで使用されたが、平成2年に商業用地として埋め立てられ、現在『ゆめタウン』が建てられている。



旧楠港跡地に「ゆめタウン」が建てられている

25

I. 歴史

■荒金啓治（あらかねけいじ）

【解説】

大分県議会議長等を経て昭和30年より50年まで、歴代最も長い5期20年間市長を務めた。大分川からの引水、朝見浄水場の拡張などで、恒常的な水不足の解消や、温泉プールの開設、別府商業高校の開校などに取り組んだ。別府市名誉市民。



26

I. 歴史

■別府原爆センター

【解説】

戦後、約50年間に渡り、温泉を利用した原爆被爆者のための療養施設の通称名。

昭和35（1960）年、世界初の原子爆弾被爆者のための温泉療養施設として市内小倉に開設。利用者の減少により2011年に閉鎖。利用者は延べ87万人。



27

II. 一般

■ワンダーコンパス

【解説】

別府駅構内に3か所あった案内所を令和5年4月に一本化した。外国語対応が可能で、年中無休8:45～18:00で案内を行っている。レンタサイクル等もある。



連日多くの観光客が訪れている

28

II. 一般

■将棋名人戦対局

【解説】

藤井聡太名人の4連勝がかかった対局だったが、豊島将之9段の勝利となった。

田の湯町の老舗割烹旅館「もみや」で、R6年5月18日～19日に行われ、市内2カ所での大盤解説や、対局者用に用意された勝負飯などが話題となった。



「もみや」での名人戦

29

II. 一般

■別府ブルーバード会館（劇場）

【解説】

昭和24年に開業、渥美清等多くの映画人も訪れている老舗映画館。90歳を超えた岡村照館長は今でも映写技師として活躍している。



駅前通りに面している

30

II. 一般

■第4埠頭（だい4ふとう）

【解説】

2011年にクルーズ船専用港として、国際観光港の北側に建設された。

現在、年間約50隻ほどの国内外のクルーズ船（大型客船）が就航している。



「ダイヤモンド・プリンセス号」115,906トン
全長：290m、乗客定員：3,247人

31

II. 一般

■APU立命館アジア太平洋大学

【解説】

2000年に開学。
6,541人の学生の内、約半数3,160人（110カ国）の外国人が学んでいる。
（2025.5月時点）



32

Ⅱ. 一般

■大分県内の市町村（18）

【解説】

- 14市：大分、別府、中津、
日田、佐伯、臼杵、
津久見、宇佐、国東
豊後高田、杵築、
豊後大野、竹田、由布
**（津久見市と豊後大野市
だけ温泉がない）**
- 3町：日出町、玖珠町、
九重町
- 1村：姫島村



33

Ⅱ. 一般

■別府市の現在のソウルフード

【解説】

とり天、冷麺、プリン（地獄蒸し）が有名。



34

Ⅱ. 一般

■稲尾和久（いなおかずひさ）

【解説】

昭和36年に年間42勝を挙げ、別府市の名誉市民にもなっている元西鉄ライオンズの名投手。漁師の家の7人兄弟の末っ子に生まれ、緑ヶ丘高校から西鉄入り。年間42勝等数々の記録を残し「神様仏様稲尾様」と呼ばれた。別府市名誉市民。実相寺球場内に記念館がある。



記念館に掲示の写真

記念館には稲尾氏を称える資料が数多く展示されている

35

Ⅱ. 一般

■別府市の人口は約112,000人

【解説】

昭和56年に125千人をピークに下がり続けており、2035年には10万人を割るのではと危惧されている。（R7年3月別府市人口ビジョン）
県人口は約1,082千人。



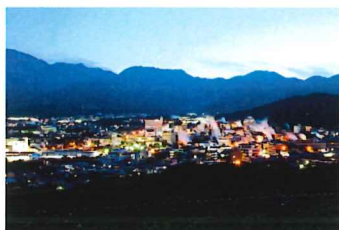
36

Ⅱ. 一般

■別府市の観光客数は約850万人（コロナ前）

【解説】

2019年の観光動態では、宿泊244万人、日帰り590万人、計834万人でした。コロナ禍で一時減少しましたが、2024年には700万人台まで回復しています。



37

Ⅱ. 一般

■市内には3大学

【解説】

- ・APU…6,541人（内49%は110カ国からの留学生3,160人）—R7.5月現在—
- ・別府大学…2,490人（内短大498人）—R6.5月現在—
- ・溝部学園短大…322人 —R6.5月現在—



38

Ⅱ. 一般

■ホーバークラフト

【解説】

大分空港と大分市を最短で結ぶ海上交通の乗り物。2009年に利用客減少で一旦廃止となったが、2025年7月に復活。



39

Ⅱ. 一般

■別府市美術館

【解説】

別府市美術館は、福岡県出身の実業家佐藤慶太郎の寄付を元に1950年（昭和25年）に設立された九州で初めての公立美術館である。場所は転々としてきたが、現在は旧ニューライフプラザ内に開設されている。



40

39

40

Ⅱ. 一般

■別府市役所

【解説】

別府市役所本庁舎は、現在の南部出張所のある建物の場所に昭和61年までありました。市役所移転前は、永年別府市の中心は別府駅から南の浜脇・南部地域であった。



現在の別府市役所



旧市役所跡には、南部出張所等が入る複合施設となっている

41

Ⅱ. 一般

■別府市は第三次産業が多い

【解説】

旅館ホテルを中心とするサービス業などの第三次産業に従事している人が最も多い。R2年統計では、第三次産業が91.6%となっている。大分県平均は、約67%。



42

41

42

Ⅱ. 一般

■鶴見岳の標高は1375m

【解説】

現在でも活火山である鶴見岳は、別府ロープウェイでは約10分で山頂駅に行ける。登山だとロープウェイ高原駅から約2時間の道のりである。



43

Ⅱ. 一般

■由布岳の標高は1583m

【解説】

別府市と由布市にまたがる『豊後富士』と呼ばれる由布岳は、鶴見岳より208m高い。九州横断道路の登山口から山頂までは、約2時間40分を要する。



44

43

44

Ⅱ. 一般

■九州本土最高峰は中岳

【解説】

九州の尾根と呼ばれる九重連山の中で最も標高の高いのは『中岳』（1791m）、次いで『久住山』（1786m）である。



45

Ⅱ. 一般

■猪の瀬戸湿原（いのせとしつげん）

【解説】

別府から湯布院に向かう途中、由布岳登山口の手前にある湿原。

標高760mの山地湿原で、多種多様な動植物が生息・生育しており、市生物環境保護地区に指定されている。



46

Ⅱ. 一般

■オオムラサキ

【解説】

別府市花になっているツツジ科の花で、4月中旬から5月中旬にかけて赤紫色の大きな花を咲かせます。



市内の街路樹にも多く植栽されている

47

Ⅱ. 一般

■クスノキ

【解説】

別府市木にもなっているクスノキは、別府市内でも多くの大木が現存する。朝見神社のクスノキは、御神木にもなっており、県指定の天然記念物である。



朝見神社のクスノキ

48

Ⅱ. 一般

■扇状地（せんじょうち）

【解説】

別府市街地の地形は、山から扇方に広がっており、綺麗な扇状地である。海から見る別府市は絶景である。



早朝入港するサンフラワーから見える別府市は絶景である

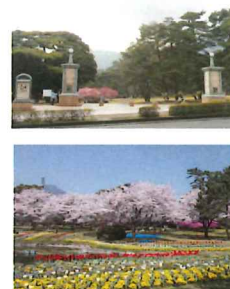
49

Ⅱ. 一般

■別府公園

【解説】

昭和52年に昭和天皇在位50年記念公園指定を受けた公園。平成18年に日本の歴史公園100選に選ばれている。東京ドーム約5個分の広さがある。



50

Ⅱ. 一般

■藤ヶ谷清掃センター（ふじがたに）

【解説】

別府市を含む近隣市町（杵築市、日出町）と組織している広域圏事務組合の清掃センター。昭和53年開設。



Ⅱ. 一般

■秋草葬祭場（あきくさそうさいじょう）

【解説】

別府市を含む近隣市町村（杵築市、日出町）と組織している広域圏事務組合の火葬場。昭和53年開設。



51

52

Ⅱ. 一般

■京都大学 地球熱学研究施設

【解説】

大正13年、大分県別府市野口原に当時の京都帝国大学宮緒課長 永瀬狂三氏の設計により建設。レンガ造りとしては珍しい塔を中央に配置し、洗練されたデザインとして建築的にも高い評価。登録有形文化財。



Ⅱ. 一般

しんとうじ

■新湯治・ウェルネスツーリズム事業

【解説】

古くからの湯治文化を継承するとともに、世界的なトレンドであり、今後市場規模の拡大が期待される「ウェルネス」に着目し、「医療・美容・健康」をテーマとした、別府市の新たな観光のかたちを目指す取組。



扇山の研究実践拠点施設のイメージ図

53

54

Ⅱ. 一般

■新・別府市立図書館「こもれびパーク」

【解説】

別府市役所の西側の松林の中に建設され、令和8年3月末供用開始。従来の倍の約20万冊が閲覧可能。

複合施設として、通称『こもれびパーク』の愛称がつけられた。



Ⅲ. イベント

■扇山（大平山）火まつり

【解説】

毎年4月の温泉まつりに合わせて、夜に野焼きが行われており、昭和51年より『扇山火まつり』として実施している。



55

56

Ⅲ. イベント

■湯ぶっかけまつり

【解説】

温泉まつりのメイン行事であり、以前は『湯かけまつり』であったが、大量の湯をかけあうようになった2017年より『ぶっかけ』となった。

市制施行100年の2024年には210tの湯を使用した。



57

57

Ⅲ. イベント

はまわきやくし

■浜脇薬師まつり

【解説】

例年8月末に浜脇温泉の薬師如来に感謝をささげる祭り。花魁道中や見立て細工が有名。



58

58

Ⅲ. イベント

かなわゆ

■鉄輪湯あみまつり

【解説】

例年9月に、鉄輪温泉の開祖と言われる一遍上人に感謝する祭りとして稚児行列などが実施される。



59

59

Ⅲ. イベント

■べっぶ鶴見岳一気登山大会

【解説】

4月にスパビーチから鶴見岳山頂までを、幹線道路を通らずに登る登山大会。令和5年度は第36回目の開催で、全国から約2100人が参加した。



満開の桜の下、境川河川敷を進む

60

60

Ⅲ. イベント

■行橋別府100キロウォーク

【解説】

福岡県行橋市を正午にスタートし、100キロ離れた別府市の的ヶ浜公園を目指します。毎年10月に開催され、ルールは走らないことと、26時間以内にゴールすることの2つ。約4千人が参加。



R6年度のゴール地点

61

61

Ⅲ. イベント

■べっぶクリスマスファンタジア

【解説】

毎年12月のクリスマスの時期に、2日間スパビーチを主会場に花火大会が開催されるほか、子どもたちによるクリスマスソング等も歌われる。



62

62

Ⅲ. イベント

■別府アルゲリッチ音楽祭

【解説】

1998年より毎年4月～6月にかけてアルゼンチン出身の世界的ピアニスト マルタ・アルゲリッチを総監督に開催されているクラシックの音楽祭。



©Rikimaru Hotta

63

Ⅲ. イベント

■2002サッカーワールドカップ

【解説】

イタリアVSメキシコ等3試合が大分市のビッグアイで開催された。人気チームのイタリアは別府に宿泊した。



64

Ⅲ. イベント

■2019ラグビーワールドカップ

【解説】

人気のニュージーランドやオーストラリア、ウェールズが別府でキャンプした。欧米系の外国人を中心に街が賑わった。



65

Ⅲ. イベント

ゆ～えんち

■湯～園地

【解説】

温泉を活用して2017年にラクテンチで開催され、ワイドショー等でも紹介され、日本中で大きな話題になったイベント。動画100万再生で実現との公約が3日で達成され、7月に3日間限定で開催された。



66

Ⅳ. 観光施設

■地獄めぐり

【解説】

別府地獄組合に加盟している地獄は、海、血の池、龍巻、白池、鬼石、かまど、鬼山の7か所であり、1カ所500円、共通券は2,400円となっている。

(2026年7月現在)



血の池地獄

67

Ⅳ. 観光施設

■海地獄

【解説】

明治43年に、別府で初めて入場料2銭を取って営業を始めた地獄で、きれいなコバルトブルー色が人気を集めている。血の池、龍巻、白池と共に国指定名勝にも指定されている。



68

IV. 観光施設

■志高湖（しだかこ）

【解説】

海拔約600m、周囲2km、キャンプ場があり、本格的なアスレチックやボート遊びもできる湖。



69

IV. 観光施設

■神楽女湖（かぐらめこ）

【解説】

別府市の高原で花菖蒲（はなしょうぶ）で有名な湖。志高湖から遊歩道でつながっており徒歩約30分。6月上旬から約80種、15000株の花菖蒲が咲きほこる。



70

IV. 観光施設

■関の江海水浴場

【解説】

別府市の北端（亀川古市町）にあり、別府市内で唯一の海水浴場である。例年7月中旬～8月中旬まで開設されている。



71

IV. 観光施設

■竹細工伝統産業会館

【解説】

竹細工を展示している実相寺にある市営の施設。伝統工芸士の作品の展示や、教室、販売、秋には『竹と月夜の調べ』も開催。



72

IV. 観光施設

■朝見神社（あさみじんじゃ）

【解説】

創建は建久7年(1196)、樹齢吉千年といわれる御神木のクスノキや、表参道の夫婦杉(門杉)、お詣りの際に踏むと縁起が良いといわれる「ひょうたん石」や「盃石」がある。戦後、温泉神社を合祀して、名実ともに別府温泉の総鎮守となりました。



73

IV. 観光施設

■八幡竈門神社（はちまんかまどじんじゃ）

【解説】

神亀四年（727年）の創建。大分トリニータが毎年必勝祈願の参拝をしており、近年では人気漫画『鬼滅の刃』の聖地巡礼の地としても有名となっている。



74

IV. 観光施設

■宇佐神宮

【解説】

全国4万社あまりある八幡宮の総本宮。御祭神である八幡大神さまは、大陸の文化と産業を輸入し、新しい国づくりをされた応神天皇のご神霊方です。725年(神亀2年)八幡大神が本殿に御鎮座後、令和7年で1300年となった。



75

IV. 観光施設

■金鱗湖 (きんりんこ)

【解説】

清水と温泉が流れ込んでおり、湯布院でもっとも有名な観光名所の湖。



76

IV. 観光施設

■内成棚田 (うちなりたなだ)

【解説】

全国の棚田百選に選ばれた棚田。戦国期から江戸期にかけて開かれ、面積は40余ヘクタール、水田およそ1000枚とまさに千枚田。



77

IV. 観光施設

■湯けむり展望台

【解説】

イトーピアの坂の途中にあり、鉄輪の湯けむりや、扇山、鶴見岳等が見渡せる展望台。



湯けむりを撮影する絶景ポイント

78

IV. 観光施設

じゅうもんじばるてんぼうだい

■十文字原展望台

【解説】

明礬からアフリカンサファリに向かう途中、別府市街地を見渡せる展望台。各放送局の電波塔も建てられている。



79

IV. 観光施設

あんらくじ

■安楽寺のシダレザクラ

【解説】

東山地区城島にあるシダレザクラで有名なお寺。樹齢約150年という県指定特別保護樹木となっている。周辺のソメイヨシノに比べて開花が少し早い。



80

IV. 観光施設

■湯の花

【解説】

明礬地区で製造されている湯の花とは、江戸時代から続く伝統的製造法による天然由来の入浴剤。国重要無形民俗文化財に指定されている。



81

IV. 観光施設

■別府タワー

【解説】昭和32年（1957年）に建設された別府タワーは「塔博士」と呼ばれた内藤多仲博士が手がけた全国主要都市にある6つのタワー（名古屋テレビ塔、通天閣、別府タワー、さっぽろテレビ塔、東京タワー、博多ポートタワー）通称「タワー6兄弟」のひとつ。国の登録有形文化財にも登録されています。



82

IV. 観光施設

■たのうらら

【解説】

別大国道にR6年7月にオープンした大分市の道の駅。



83

IV. 観光施設

■富貴寺（ふきじ）

【解説】

豊後高田市にある富貴寺は平安時代に宇佐神宮大宮司の氏寺として開かれ、阿弥陀堂は現存する九州最古の木造建築物であり、**国宝指定**。



84

IV. 観光施設

ほとけのさと

■『仏の里』国東半島

【解説】

国東半島は神仏習合発祥の地で六郷満山（ろくごうまんざん）と呼ばれ、神社仏閣が多数あることから仏の里とも呼ばれている。



85

IV. 観光施設

■別府市ドッグラン

【解説】

平成27年3月に総敷地面積約2,900㎡の別府市ドッグランが鉄輪地獄地帯公園内にオープン。フリーエリアには犬・人兼用の足湯を完備。



86

IV. 観光施設

■別府公園の松

【解説】

明治39年に梨本宮
守正王による御賜
金により、現在の
別府公園等一带に
松の苗35,000本を
植樹。現在も約
650本の松が残る。



87

87

IV. 観光施設

■べっぴん駅市場

【解説】

1966年の開業当初は、
「日本一長い高架下商店
街」として親しまれてき
たが、2026年に全面リ
ニューアルされた。別府駅
に近い「新通り」と、流
川通りつながる「本通
り」に分かれ、飲食店な
ど19店舗が軒を連ね、多
くの観光客にも親しまれ
ている。



「本通り」の入口

88

88

V. 交通
姉妹都市

■路面電車

【解説】

1900（明治33）年に別
府一大分間に路面電車が
開通し、別府駅前や亀川
駅まで延長され、その後
72年間に渡り利用されて
きたが、車の普及により
1972年（昭和47年）に廃
止となった。



89

89

V. 交通
姉妹都市

■別府駅開業

【解説】

1911年（明治44年）7月
に亀川駅と別府駅、11月
に浜脇駅（現在の東別府
駅）が開業。1966年（昭
和41年）に高架化され、
別府駅は駅舎内に商業施
設を併設した全国39番目
の民衆駅となった。



油屋熊八像が見守る別府駅

90

90

V. 交通
姉妹都市

■商船三井さんふらわあ

【解説】

別府港～大阪南港
大分港～神戸港

2023年よりLNG（液化天
然ガス）を燃料にした新
造船が就航している。

早朝の入港時、船からの
別府の景観は絶景である。



91

91

V. 交通
姉妹都市

■宇和島運輸フェリー

【解説】

1885年（明治18年）
「第1宇和島丸」が就
航し、宇和島から大
分・別府経由で大阪ま
で運航される独自の定
期航路を開設されたの
が始まり。別府港と宇
和島市八幡浜港を約3
時間弱で結んでいる。



特等客室

92

92

V. 交通
姉妹都市

■韓国からの定期便

【解説】

現在大分空港に定期便で発着している韓国の航空会社は、チェジュ航空である。



93

V. 交通
姉妹都市

■湯けむりライドシェアGLOBAL

【解説】

一般のドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶサービス。タクシー不足解消のため、2025年春より開始され、迎車料は500円（2025.12月現在）。専用アプリで配車。



94

V. 交通
姉妹都市

■エアライナー

【解説】

大分空港と、別府・大分を結ぶ大分交通のアクセスバスの名称。県北、県南、湯布院行きは名称が異なる。



95

V. 交通
姉妹都市

■ゆふりん

【解説】

亀の井バスが、週末や祭日を中心に別府～湯布院間を往復しているバスの名称。平日は1往復、土日祝日は6往復運航。（R7.7現在）



96

V. 交通
姉妹都市

■大分県はトンネルの数が日本一

【解説】

大分県内のトンネル数は596本で日本一。（2020年道路統計年報）

高速別府ICと大分IC間だけでも、上下線ともに5つのトンネルがある。



97

V. 交通
姉妹都市

あたまし

■静岡県熱海市

【解説】

別府市が姉妹都市を結んでいる国内唯一の市。東の熱海、西の別府として以前は新婚旅行のメッカでもあった。

（1966年締結）



98

V. 交通
姉妹都市

もっぼし

■韓国木浦市

【解説】

黄海に面したリアス式海岸の入江に市街地が広がり、背後には儒達山がある風光明媚な港町。人口は約214,000人（1984年姉妹都市締結）



99

V. 交通
姉妹都市

えんたいし

■中国烟台市

【解説】

烟台市は山東半島の東部に位置しており、日本と韓国と海を隔てて、向かい合っている。人口約650万人。（1985年友好都市締結）



100

V. 交通
姉妹都市

■ニュージーランド ロトルア市

【解説】

ニュージーランド北島のほぼ中央に位置し、人口は約7万人で原住民マオリ族が約3分の1を占める。別府市と同様にロトルアは地熱の特色を生かしたスパ、温泉、泥湯や間欠泉で有名である。

（1987年姉妹都市締結）



101

V. 交通
姉妹都市

■イギリス バース市

【解説】

バースはロンドンから約176 km西に位置し、イギリスの中では唯一の温泉地で、この温泉資源がバース市を世界的に有名にした。人口約94,000人。

（1994年姉妹都市締結）



102

VI. 温泉

■温泉は25°以上

【解説】

温泉法で一定以上の温度で地中から湧き出す水・温水・水蒸気などを温泉といいます。基本、温度が25℃以上が温泉。



間欠泉として有名な「龍巻地獄」

103

VI. 温泉

■別府温泉には7種類の泉質がある

【解説】

（別府市にある7泉質）

- ・単純泉・塩化物泉・硫酸塩泉
- ・炭酸水素塩泉・含鉄泉・酸性泉・硫黄泉

（別府市にない3泉質）

- ・放射能泉・含よう素泉
- ・二酸化炭素泉



104

103

104

VI. 温泉

■単純温泉（たんじゅんおんせん）

【解説】

溶存物質が1kg中に1,000mgに満たないもので、泉温が25℃以上。刺激が少なく、子供や高齢者にも優しい温泉。別府八湯では、別府温泉、浜脇温泉、亀川温泉



永石温泉

105

VI. 温泉

■塩化物泉（えんかぶつせん）

【解説】

- 熱の湯と言われ、温まりやすく、皮膚に塩分が付着するため、保温効果と血液循環効果。



ひょうたん温泉（鉄輪温泉）

- ・鉄輪温泉 亀川温泉

106

VI. 温泉

■炭酸水素塩泉（たんさんすいそえんせん）

【解説】

- 皮膚の角質を軟化する作用があり、俗に「美人の湯」と言われる温泉。
- ・温まりやすく、浴後はさっぱり
- ・別府温泉



別府温泉 海門寺温泉

107

VI. 温泉

■硫酸塩泉（りゅうさんえんせん）

【解説】

- 塩類泉で保湿効果がある。飲用は胆のうを収縮させ、腸のぜん動活動を活発化する。



豊山荘（鉄輪温泉）

- ・鉄輪温泉

108

VI. 温泉

■硫黄泉（いおうせん）

【解説】

- 殺菌力が高く、皮膚表面の細胞や、アトピーの原因となる物質を取り除く効果がある。
- 腐った卵のような独特のにおいがある
- ・明礬温泉



明礬湯の里

109

VI. 温泉

■含鉄泉（がんでつせん）

【解説】

- 空気に触れると酸化し、赤褐色の沈殿物が生じ、浴槽が赤褐色を帯びてくる。
- ・飲むと鉄の味がする
- ・柴石温泉、明礬温泉



血の池地獄（足湯）

110

VI. 温泉

■酸性泉（さんせいせん）

【解説】

- 酸性が強く、入浴すると肌にしみ、殺菌力が強く、飲むと酸味を感じる。

- 明礬温泉
- 柴石温泉



柴石温泉

111

VI. 温泉

■二酸化炭素泉（にさんかたんそせん）

【解説】

- 入浴すると皮膚の表面に細かな泡となって付着・吸収され、保温や循環効果がある。
- 別府八湯では、現在、その存在が認められていないが、1970年「大分県鉱泉誌」にはその存在が記述されている。



竹田市の長湯温泉

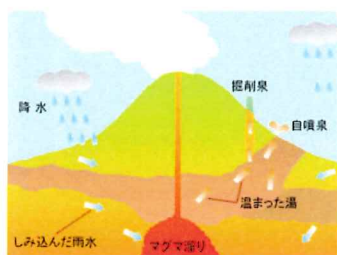
112

VI. 温泉

■温泉が湧きだすための3条件

【解説】

- ①熱源（マグマ）
- ②地下水（雨水）
- ③水の経路（断層など）



113

VI. 温泉

■雨水が50年後に温泉に

【解説】

- 別府温泉は天水（雨水）がマグマによって温められて温泉になるが、天水が温泉になるまでの期間は**50年**と言われている。



別府駅前の『手湯』

114

VI. 温泉

■鉄輪断層と朝見川断層

【解説】

- 別府の扇状地には、北と南に断層が走っているが、北側の断層を鉄輪断層（明礬、鉄輪、亀川、柴石）
- 南側の断層を朝見川断層（堀田、観海寺、別府、浜脇）といいます。



115

VI. 温泉

■別府石

【解説】

- 鶴見岳・伽藍岳の火山活動による、火砕流や土石流で扇状地を形成してきた角閃石安山岩を、別名別府石という。
- 土地を耕すと別府石が大量に出土するため、石畳や石垣の材料として使われました。



別府公園を囲む石垣に使われている別府石

116

VI. 温泉

■活火山は1万年前まで活動

【解説】

- 別府温泉の西側には、活火山の鶴見岳・伽藍岳があるが、**1万年前まで活動**しているものを活火山と言う。
- 日本には**111の活火山**があるが、以前の分類の休火山・死火山という概念は、今は使われていません。



伽藍岳と塚原温泉「火口乃泉」

117

117

VI. 温泉

■別府市の源泉数は日本一

【解説】

- 全国には27,932の源泉があるが、別府市の源泉数は、その10.2%の**2,839**。
- 2位の湯布院は約880なので、その約3倍の量を別府は保有。
(R5.3.31現在)



118

118

VI. 温泉

■別府温泉は湧出量も日本一

【解説】

毎分、全国2,515,272 Lの

4.1%に当たる

102,671 Lの湧出量がある。

これは、1日当たり

25mプール（約600m³）に換算して、約247個分に相当する。 (R5.3.31現在)



119

119

VI. 温泉

■上総掘り（かずさぼり）

【解説】

- 明治12(1879)年に初めて温泉井戸が掘られ、別府を日本一の温泉地にした掘削技術
- 上総の国(今の千葉県)で、掘り抜き井戸を掘る技術が伝わり、温泉掘削に改良された。



浜田温泉資料館に展示されている上総掘りのオブジェ

120

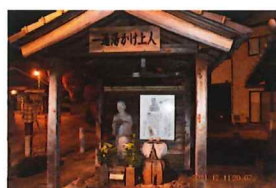
120

VI. 温泉

■一遍上人（いっぺんしょうにん）

【解説】

- 鎌倉時代に鉄輪温泉の蒸し湯を開基したと伝えられる時宗の開祖。
- 踊念仏で知られ、鉄輪には時宗の「**温泉山永福寺**」があります。



121

121

VI. 温泉

じごくむしこうぼう かななわ

■地獄蒸し工房鉄輪

【解説】

- 温泉の蒸気を利用した調理が江戸時代以前から伝わっていますが、鉄輪にある別府市が所有する地獄蒸しの施設。



122

122

VI. 温泉

■非火山性温泉

【解説】

- 別府温泉は火山のマグマで温められた火山性温泉だが、大分市のように火山のないエリアの温泉のこと。**有馬温泉**や**道後温泉**などが代表例。



大分市 王子温泉

123

123

VI. 温泉

■温泉の分析結果揭示は10年毎

【解説】

- 温泉法では温泉成分の定期的**（10年毎）**な分析と結果の揭示が義務付けられている

温泉成分表 昭和

1. 温泉名	大分市 王子温泉	2. 温泉種別	非火山性温泉
3. 温泉の所在地	大分県大分市	4. 温泉の発見者	不明
5. 温泉の発見年	不明	6. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
7. 温泉の発見者	不明	8. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
9. 温泉の発見年	不明	10. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
11. 温泉の発見者	不明	12. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
13. 温泉の発見年	不明	14. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
15. 温泉の発見者	不明	16. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
17. 温泉の発見年	不明	18. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
19. 温泉の発見者	不明	20. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
21. 温泉の発見年	不明	22. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
23. 温泉の発見者	不明	24. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
25. 温泉の発見年	不明	26. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
27. 温泉の発見者	不明	28. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
29. 温泉の発見年	不明	30. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
31. 温泉の発見者	不明	32. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
33. 温泉の発見年	不明	34. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
35. 温泉の発見者	不明	36. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
37. 温泉の発見年	不明	38. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
39. 温泉の発見者	不明	40. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
41. 温泉の発見年	不明	42. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
43. 温泉の発見者	不明	44. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
45. 温泉の発見年	不明	46. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
47. 温泉の発見者	不明	48. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
49. 温泉の発見年	不明	50. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
51. 温泉の発見者	不明	52. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
53. 温泉の発見年	不明	54. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
55. 温泉の発見者	不明	56. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
57. 温泉の発見年	不明	58. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
59. 温泉の発見者	不明	60. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
61. 温泉の発見年	不明	62. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
63. 温泉の発見者	不明	64. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
65. 温泉の発見年	不明	66. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
67. 温泉の発見者	不明	68. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
69. 温泉の発見年	不明	70. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
71. 温泉の発見者	不明	72. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
73. 温泉の発見年	不明	74. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
75. 温泉の発見者	不明	76. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
77. 温泉の発見年	不明	78. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
79. 温泉の発見者	不明	80. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
81. 温泉の発見年	不明	82. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
83. 温泉の発見者	不明	84. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
85. 温泉の発見年	不明	86. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
87. 温泉の発見者	不明	88. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
89. 温泉の発見年	不明	90. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
91. 温泉の発見者	不明	92. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
93. 温泉の発見年	不明	94. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
95. 温泉の発見者	不明	96. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
97. 温泉の発見年	不明	98. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉
99. 温泉の発見者	不明	100. 温泉の発見場所	大分市 王子温泉

124

124

VI. 温泉

■石菖（せきしょう）

【解説】

- 鉄輪むし湯は温泉で熱せられた石室の床の上に鎮痛効果のある薬草（**石菖**）が敷き詰められている。清流の岸边に生える薬草で、これが使われているのは全国的にもここだけ。



鉄輪むし湯



125

125

VI. 温泉

■竹瓦温泉（たけがわらおんせん）

【解説】

- 明治12(1879)年創設で、建築当初は竹屋根葺きの浴場だったことからこの名が付いた。
- 現在の建物は昭和13(1938)年に建設されたもので、正面は唐破風造(からはぶくり)の豪華な屋根をもつ温泉で、その外観は別府温泉のシンボリックな存在。



126

126

VI. 温泉

■浜田温泉資料館

【解説】

- 古くは浜田鉱泉・内竈の湯とも言われ、昭和10年に建築された登録有形文化財。向かい側に現在の浜田温泉がある。



127

127

VI. 温泉

みょうばん

ゆのはな

■明礬温泉の湯の花

【解説】

- 国の重要無形民俗文化財に指定されている明礬温泉の湯の花製造技術は、温泉ガスと粘土中の鉄とアルミニウムが反応して作られている。
- 温泉成分に**鉄イオン**が多いものを**緑礬泉**、**アルミニウムイオン**の多いものを**明礬泉**といいます



明礬温泉の湯の花小屋

128

128

VI. 温泉

■『血の池地獄』が赤いのは

【解説】

- ベンガラともいわれる血の池地獄の赤色の沈殿物は、鉄が酸化したもの。



129

129

VI. 温泉

■レイリー散乱

【解説】

- 温泉に溶け込んでいるシリカなどの微粒子が、**小さいうち**は光を反射して**青く見える**現象。
- 温泉に溶け込んでいるシリカなどの微粒子が**大きくなり**光を反射して**白く見える**現象を**ミー散乱**という。

130

130

VI. 温泉

■アルカリ性温泉のPH

【解説】

- アルカリ性温泉は皮脂を溶かし、ヌルヌルとした肌触りが特徴だが、PHは**8.5**以上である。
- **PH7.5以上、PH8.5未満は弱アルカリ性温泉**
- 別府八湯では、小倉の**豊山荘がPH9.0**



神丘温泉 豊山荘の露天風呂

131

131

VI. 温泉

■湯雨竹（ゆめたけ）

【解説】

- 源泉の高温の温泉を、加水せずに適温にする竹を使った装置。
『ひょうたん温泉』をはじめ、多くの温泉で導入されている。



『ひょうたんおんせん』の湯雨竹

132

132

VI. 温泉

べっぴはっとう おんせんだうめいじん

■別府八湯温泉道名人

【解説】

別府八湯温泉道に参画している約150の施設の内、88ヶ所に入湯してスタンプ（スパポート）を集めると、温泉道名人として認定される。24年間に国内外に延べ12,000人を超える名人が誕生している。（R7.6現在）。



133

133